

映画「海難1890」鑑賞に向けて



明治時代の1890年に串本町沖で遭難し、乗組員587人が犠牲となったトルコ軍艦「エルトゥールル号」事故を題材にした日本・トルコ合作映画「海難1890」を、11月25日(水)に鑑賞します。

これに先立ち、田嶋串本町長さんから講演をいただきました。その中で、救援活動に要した費用を請求して下さいというトルコ政府に対して大島村民が、「元からお金を請求するつもりはない。(ト政府の用意した)お金は、遭難した人々に施してあげて頂きたい。」と返答した話がありました。このことについて町長さんは、以下の記事を書かれています。

「(前略)その時に村民が送り返した手紙の写しが、地元の寺、無量寺から12年程前110年の時を経て発見され、そこには、「然れども不肖、素より薬價・施術料を請求するの念なく、唯唯 負傷者の惨憺(さんたん)を憫察(びんさつ)し、ひたすら救助一途の惻隱心(そくいんしん)より拮据(きつきょ)従事せし事故(ゆえ)其の薬價治術料は該遭難者へ義捐致し度候間此の段宜敷く御取り計らい下さりたく候也」(一部抜粋)と3人の医者(の)の連名で文章が綴られていました。

私たちは正直その内容を見て驚きました。けては裕福ではなかったはずの村医を始めとする村民達が「元からお金を請求するつもりはない。ただただ痛ましく哀れに思い行った事。そのお金は遭難した人々に施してあげて頂きたい。」と返信していたのです。この地に生まれこの地に育った者として先人の利他の心に感動すると共に、明治時代を生きた人々の気骨な精神を感じました。この不幸な出来事は122年前我が地方で起こりましたが、100年120年前を生きた日本人であるならば如何なる地域でこのような事故が起ころうとも同じ行動を取ったであろうと思います。(以下略)」(全国町村会町村長随想より <http://zck.or.jp/essay/2822/2822.html>)

このような郷土の先人の息吹を、ぜひこの映画で感じとって下さい。

薬物乱用防止啓発活動

新宮保健所串本支所、串本警察署や地域の方も参加して、10月21日(水)に実施しました。

「ダメ。ゼッタイ。」という厚生労働省の標語は、一度は聞いたことがあると思います。薬物乱用は、生命や社会や国家の安全や安定を脅かす社会問題として、どの国でも大きな問題として捉えています。もちろん、ほとんどの人は関係のない話だと思います。しかし、若い女性がダイエット効果があるということで手を出したり、芸能人が警察に検挙される報道も、良く目にします。薬物乱用によって引き起こされるマイナス面をしっかりと認識し、絶対に関わることのないようにして下さい。「ほんの1回くらい・・・」などの軽い気持ちは、絶対に禁物です。



ようこそ先輩 講演会

10月30日(金)に、古座高校平成4年3月卒の岡田由紀先生(東京大学分子細胞生物学研究所 特任准教授)を迎え、「研究者という職業と生命科学研究が変える医療」と題して講演会を開催しました。

先生の高校卒業後の歩みから話が始まり、研究とはどのようなものなのかや、基礎・応用・開発研究の違いについての説明がありました。その後は「日本の女子はやせすぎ」という話を例に出し、遺伝子工学の研究についてわかりやすく説明していただきました。

最後の質疑応答で、「(高校時代に落ち込んだ時には)ひたすら勉強をした」と話をされたのが印象的でした。

お忙しいところを古座までお越しいただき、ありがとうございました。



献血活動

古座校舎では例年生徒会が中心になって、「献血に協力しよう」キャンペーンを行っています。今年は、48名の生徒が参加しました。人数は少ないですが、全校生徒の数から考えると、割合はかなり高いと思います。また、地域の方々にも2名の参加がありました。ご協力をいただき、ありがとうございました。



冬服更衣

11月2日(月)から、完全冬服更衣となっています。上着を着用することはもちろんですが、ネクタイもきちんと着装し、必ず第1ボタンを留めるようにして下さい。これについては毎朝校門で(教師が)声をかけています



が、常に正しい形での制服着用を心がけること。スカートの下からハーフパンツが出ているなんて・・・

服装がその人の全てではありませんが、決して無関係ではありません。常に端正な服装を心がけて下さい。

11月行事予定

- | | | |
|-----|---------------|--------------|
| 11月 | 5日(木) | 防災スクール(2~4限) |
| | 20日(金)・21日(土) | 文化祭 |
| | 24日(火) | 文化祭代休 |
| | 25日(水) | 「海難1890」鑑賞 |
| | 26日(木) | 期末考査発表 |